

第3章

【主体的・対話的で深い学びへとつながるICTの活用】実践例

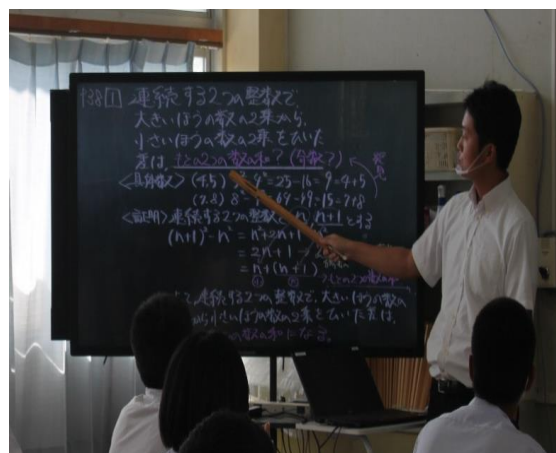
主体的な学びへとつなげるための活用

～芦北町立佐敷中学校～

子供たちを主体的に学びに向かわせるためには、課題意識を持たせることが大切である。子供たちに課題意識を持たせ、既習事項を基に問いを引き出すためにICTを活用した。

前時の授業の板書の写真を、ディスプレイに表示することで、以前の授業内容を視覚的に想起できるようにしています。その既習事項を基に、問いを引き出すためのきっかけとなる教師からの言葉かけ等により、子供たちに課題意識を持たせることができ、主体的な学びへとつなげることができます。

また、ディスプレイに表示したままにしておくことで、本時における問題を解決する際に、解決の手立てとして見返すこともできます。



課題意識を持たせるための活用

～甲佐町立甲佐小学校～

学級全員の考えを共有することで、子供が問いを持ったり、必要を感じたりしながら、友達と対話をすることができる。学級全員の考えを瞬時に共有する手段としてICTを活用した。

導入で、子供たちの意識調査を行い、子供たちは児童用タブレットPCで回答します。その結果を電子黒板で表示することで、子供たちは学級全員の考えを瞬時に見ることができ、自分と友達の違いに気付くとともに、課題意識を持たせることができます。

また、展開では、発問に対する学級全員の考えを色で電子黒板に表示します。自分は学級の誰と考えが同じなのか、違うのかが一目瞭然となります。子供たちは考えが同じ友達と話すのか、考えが違う友達と話すのかなど、意図的に相手を見つけて、意図を持った対話を行うことができます。



第3章

【主体的・対話的で深い学びへとつながるICTの活用】実践例

子供たちが自己調整を図りながら、主体的に学習を進めるための活用 ～氷川町及び八代市中学校組合立氷川中学校～ 中学校3年理科「自然のつながり」

課題解決に向けて、主体的に学びを進めていくためにICT機器と紙媒体のそれぞれのよさを活用した。

めあて
生物間の数量
の変化を説明
しよう

ICTを活用



本時の課題に関するニューファンドランド島の地図等をスクリーンに映して子供に興味を持たせる。
写真や図等を簡単に見せることができる。

ICTと紙媒体
の両方を活用



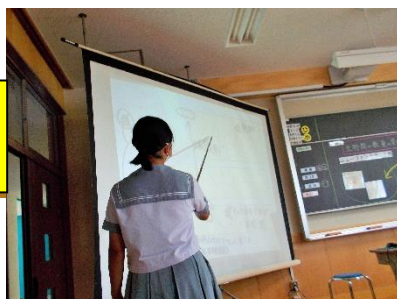
ヤマネコ、トナカイ、カンジキウサギの増減のグラフをスクリーンに映し、班での協議用にはA3サイズの紙媒体で配付する。
ICTと紙媒体のお互いのよさを活かす。

紙媒体を活用



生徒がタブレットで食物連鎖のシミュレーションソフトを使って実習する。
現実体験することが難しいことがらを、簡単に何度もシミュレーションすることができる。

ICTを活用



グループで協議して、説明を書き込んだグラフを実物投影機で大型スクリーンに映し出し、生徒が説明をする。
紙媒体を簡単にスクリーンに映し出せる。

ICTを活用



A3サイズの紙媒体をクリアファイルに挟みグループで協議しながらホワイトボード用マーカーで説明を書き込む。
何度でも簡単に書き直せる。みんなて協議しやすい。

資料を拡大して示したり、班での協議の内容を紙媒体に直接書き込んだりする学習場で、ICT機器と紙媒体のそれぞれよさを活かしています。

生徒用タブレット端末のシミュレーションソフトを用い、実際に体験できないことを、条件を変えながら何度も試行し、情報を集め、その情報を基に、課題解決を行うことができます。

第3章

【主体的・対話的で深い学びにつながるICTの効果的な活用】実践例

主体的な学びへとつなげるための活用

～荒尾市立桜山小学校～

子供たちが目的意識をもち、一人一人の興味・関心に応じた調べ学習ができるようにICTを活用した。

子供たちが児童用タブレットPCを使って、自分に必要な情報を取り出しておき、その中から自分の目的に合った情報を選択して活用することができるので、主体的な学習につなげることができます。

子供たちは、共通の目的を持って情報を集めても、集めた情報が友達と違うことに気付き、お互いの情報収集の意図を話したり、お互いの考えのよさに気付いたりします。

また、集めた情報を活用して自分だけの学びの足跡集や作品を作り、それを過去の自分の学びと比較して自分の成長を実感させることも考えられます。

